



新年 明けましておめでとうございます

今年もよろしくお願いいたします。

昨年は、衆議院議員選挙でリハビリテーション議連でもご活躍頂いているみやじ拓馬氏（鹿児島1区）、小里泰弘氏（鹿児島3区）が当選されました。

今年はいよいよ勝負の年。参議院選挙を迎えます。我々の未来のために、連盟会員一丸となって頑張りましょう。

そして、今年が終わる時に「良かったネ」と、皆さんと語り合えるような一年になるよう願っております。

今回の号は、昨年を振り返り、今年一年、前進できるような内容です。



新年あけましておめでとうございます。

昨年の衆議院議員選挙と奄美市、霧島市での地方選挙では、応援した候補者全員が当選という結果でした。連盟会員の皆様には、お忙しい中多大なるご協力、ご支援を頂きましてありがとうございました。今年の参議院議員選挙では必ず職域代表を国政の場に送らなければなりませんので、なお一層のご支援をお願いします。

昨年の連盟活動では訪問看護の人員配置割合の見直し案に対し署名や要望書を提出しました。また今回の衆議院選挙後には「新たな経済対策」の医療職処遇改善に理学療法士が含まれることになりましたし、厚生労働部会に「理学療法士を考える小委員会」が設置されるとの話も聞いています。このように我々の活動は、着実に成果を上げています。今後、理学療法士は地域の介護予防や学校保健、健康増進、療育等を含め多くの分野で必要とされています。しかし待っているだけでは職域の拡大にはつながりません。現在も他の職種に職域を代用されかねない状況にあることを知っていただきたいと思います。これからも国や県、市町村に対し政策として理学療法士を取り入れる活動を訴えていかなければならないと思っています。同時に鹿児島県理学療法士連盟は、幅広い視野で見れる理学療法士を育てるためリーダー塾の開催や多職種との交流会、自民党県連の造士館塾への派遣など次の時代を担う人材育成にも力を入れています。是非とも多くの理学療法士の方々にも連盟の活動を知って頂き参加、協力していただけるよう共にがんばっていきましょう。

鹿児島県理学療法士連盟 事務局長 赤崎昭朗



巻頭言

新春のぶい挨拶

覗いてみたい あの人の理学療法士的思考

千年メディカルクリニック リハビリテーション部 部長 勝山誠先生

「凡事徹底」私の好きな言葉の一つです。

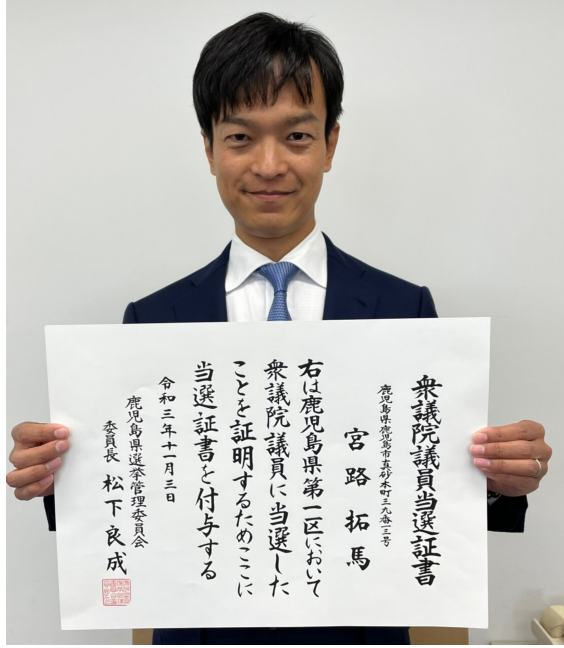
理学療法士3年目のときに尊敬するPTと出会いました。目の前で慢性的な痛みをとる。身体の動きや歩行が劇的に変化する。目からウロコでした。

「問診に時間をかける、仮説をたてて、検証する。その繰り返し。エラーがでたら、原因を考える。当たり前のことをやればいいんだよ。必ず結果がでるから。」と言われました。シンプルですが、この流れをするためには知識、技術がないとできません。意味のある問診、評価、アプローチをするためには沢山、勉強する時間が必要です。勉強、臨床と凡事徹底することが良い結果につながります。やはり患者様の笑顔や良い反応がでると、理学療法士のやりがいを感じます。

兎に角、一生懸命しておけば、患者様に伝わり良い結果が生まれるはずですが、そのためには知識、技術の向上がかかせません。コロナ禍で研修会の機会を失われていますが、ぜひとも、今後、研修会に参加して勉強してほしいものです。研鑽を続けて、たくさんの臨床家の考えに触れることで、また新しい臨床感に出会えるかもしれません。



衆議院議員 みやじ拓馬氏から直筆メッセージ 本当に直筆でメッセージを頂きました 感謝！



鹿児島県理学療法士連盟の皆様、こんにちは。宮路拓馬です。
この度の衆議院総選挙では大変お世話になりました。おかげを
もちまして、初陣となる鹿児島1区において101,251票の票をいただき、
3期目の当選を果たすことができました。

この上は、選挙戦で訴え続けたフェムテックをはじめとする女性活躍
推進や障害福祉、そして、こども育の創設をはじめとする子ども・子育て
支援など「自民党、ほくやい」あるいは「これまでの政治家、ほくやい」
政策に全身全霊で取り組み、政治信条とする「多様で公正な社会
の実現」に向けて力を尽くしてまいります！

そして、皆様には「政治は決して遠い存在ではなく、自分たちの問題
なんだ」と思っているだけな政治家として精進してまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます

～社会は変えられる。まあ、とちろ歩もう～

内閣府大臣政務官

衆議院議員 宮路 拓馬

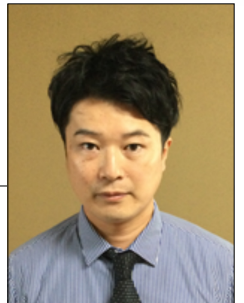


昨年の衆議院議員選挙では私たち自身も多くのことを経験させて頂き、学ぶことが出来ました。「選挙に勝つ」ということがどれほど大変な事か、そしてそのためには地道な努力が必要なこと、それを教えて頂いたように思います。

これからは、当選された議員の方々かどのような政治を行っているのか、しっかりと見届けていかなければなりません。

今回はみやじ拓馬氏からのメッセージでしたが、1月には小里泰弘氏との意見交換会も計画しております。リハビリテーション議連の先生方の動向にも今後注目です。

活動報告 第2回鹿児島県理学療法士リーダー塾 報告 鹿児島県理学療法士連盟副会長 岩森 俊



令和3年11月29日19:00より、日本理学療法士連盟青年局長の岩崎武史氏をお招きし、オンラインにて、第2回鹿児島県理学療法士リーダー研修会を開催いたしました。

参加者は35名（うち理学療法学生9名）。

「地方の理学療法士が狭い視野を広げるために愚直に取り組んできたこと」というタイトルで岩崎先生が今まで、どのような想いや思考で理学療法士として歩んできたのか？またモチベーションの創出や維持のために、何を考えて行動してきたのか？など青年代のリーダーからお話を伺い、意見交換を行う、非常に貴重な研修会となりました。

また、この研修会を企画するにあたり、私たち鹿児島連盟青年局は、以前から目指している各地区に青年代のリーダー配置に向けた、キックオフ研修にしたいという想いがあり、岩崎先生のお話を聞いて、連盟活動の大切さを再確認すると同時に、自分も！という気持ちになった参加者もいるのではないかと思います。以前からお伝えしておりますが、私たちの団体は平均年齢34歳の非常に若い団体であります。その青年代にとって連盟活動というのは自分たちの未来を創るために非常に重要な活動であり、先輩方から知識や経験を学びながら、新しいことを創出していける形を作っていけたらと考えます。岩崎先生の講話の中にたくさん含まれていた前向きな言葉に刺激を受けた皆様からのレスポンスをお待ちしております。